

第2学年2組 英語科学習指導案

日 時 令和3年10月26日(火) 5校時
場 所 松江市立湖北中学校 2年2組教室
指導者 勝部 希

1. 単元名 A Message to Myself in the Future

(NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍) Stage Activity 1)

2. 単元の目標 10年後の自分へメッセージを伝えるために、友達からのアドバイスを整理し、自分に合うと思う仕事について考え、まとまりのある文章を書くことができる。

3. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	(知) Unit3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技) 自分に合うと思う仕事について、Unit3 までの学習事項を用いて、書く技能を身に付けている。	(表) 10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合い、内容を整理して、自分に合うと思う仕事についてまとまりのある文章を書いている。	(態) 10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合い、内容を整理して、自分に合うと思う仕事についてまとまりのある文章を書くようとしている。

4. 教材観

本単元は、自分が好きなことや得意なことなどを伝え合い、向いていると思う仕事について考え、未来の自分に向けたメッセージを書く活動を扱う。単元のゴールの活動としては、10年後の自分へメッセージを書く活動を行う。まとまりのある内容になるよう考えを重ね、今の自分が未来の自分という相手を意識して「伝えたい」という気持ちをもつことができる単元であると考える。

言語材料としては、Unit3 までの学習事項を用いる。お互いに自分の考えを伝える場面、相手の考えを聞いて理解しようとする場面、未来の自分へメッセージを書く場面など、様々な活動が設定されている。1年次よりもハードルが上がるが、本単元をきっかけにさらに表現の幅を広げていきたい。

5. 生徒観

省略

6. 指導観

本単元のゴールの活動は、10年後の自分へのメッセージを書くことである。友達にアドバイスをもらいながら向いていると思う仕事に関する自分の考えや気持ちを整理し、どんな英文を書いて、どんな順番に組み立てるといいのか考える必要がある。また、伝える相手にとって分かりやすい内容になっているか、どんな気持ちでメッセージを受け取るかをイメージして作ることも心がけさせたい。

また、文章を書くことに苦勞する生徒たちが意欲的に書く活動に取り組めるよう、いくつかの表現を提示したワークシートを用いることにした。それを用いて英文を作り、文章の構成を意識させ、まとまりがある文章になるように組み立てさせたい。自分で作って見た英文と構成をグループで読み合い、アドバイスをし合って、最初に書いた内容をよりよいものにしようとする活動にしたい。

7. 学習指導要領との関わり

書くこと	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
------	---

8. CAN-DO リストとの関わり

書くこと	将来の夢や仕事について、自分の考えや意見を理由とともに書くことができる。
------	--------------------------------------

9. 研究との関わり

本校では「湖北中学校の生徒につけたい力」を「へこたれない解決力」「つながる協働力」「たくましい表現力」の3つの力に整理し、教育活動全般に反映させている。各授業においても、教科の目標だけでなく、「つけたい力」を明記しその育成に取り組んでいる。

本単元において、グループで意見交換したり、そこで得たことをもとに自分の考えを再度整理しまとめたりする場面を設定することは、単元ゴールである将来の自分へのメッセージにふさわしいまとまりのある内容にするための支えとなり、「へこたれない解決力」の育成につながるものとする。

10. 単元の指導と評価の計画（全4時間、本時3/4時）

時	ねらい (■)・主な学習活動 (丸数字)	知	思	態	評価規準 (評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> ■単元の目標と単元ゴールの活動を理解する。 ■自分が好きなこと・得意なことなどを伝え合うことができる。 ①単元目標を理解する。 ②自分が好きなことや得意なことについてワークシートに記入する。 ③お互いに好きなことや得意なことを伝え合う。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ■お互いに向いていると思う仕事について伝え合うことができる。 ①相手に向いていると思う仕事（できればその理由も）をワークシートに記入する。 ②グループでお互いに伝え合う。 ③②の内容をもとに、その仕事に就くために今後したいことや大切な				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。

	<p>ことについて整理する。</p> <p>④整理したものをしながら、作作用ワークシートを使って将来の自分に伝えたいことを書く。</p>			
3 本 時	<p>■前時の活動をもとに、将来の自分に向けたメッセージを書くことができる。</p> <p>①モデル文を参考に、まとまりのある内容にするために気をつけたいことを考える。</p> <p>②前時の作作用ワークシートを用い、構成を意識しながら組み立てる。</p> <p>③グループで読み合い、アドバイスをし合う。</p> <p>④③の内容をもとに、自分のメッセージを推敲する。</p>			<p>記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。</p>
4	<p>■将来の自分に向けて、まとまりのある内容のメッセージを書くことができる。</p> <p>①前時で推敲したものを、グループでアドバイスをし合う。</p> <p>②アドバイスをもとに、メッセージ作成のまとめに入る。</p> <p>③グループでメッセージを回し、訂正箇所があれば伝え、書き直す。</p> <p>④お互いが書いたメッセージを読み、感想を書く。</p>	書	書	書
				<ul style="list-style-type: none"> ・Unit3 までの学習事項を用いて、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝え合って整理し、未来への自分へのメッセージを書く技能を身に付けている。 ・10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について構成を意識してまとまりのある文章を書いている。 ・10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について構成を意識してまとまりのある文章を書こうとしている。

1 1. 本時の学習 (第3時)

(1) 本時の目標 将来の自分に向けてまとまりのある内容のメッセージを書くことができる。

(2) 湖北中でつきたい力 [へこたれない 解決力]

ワークシートや友達からのアドバイスをもとに、目標をもってまとまりのある内容のメッセージを書こうとしている。

(3) 展開

時間	学習活動	教師の支援 (●)
3	<p>○あいさつ</p> <p>○本時の目標と活動の流れを確認する。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 10年後の自分に、まとまりのある内容のメッセージを書こう。 </div>	

8	○モデル文を参考に、まとまりのある内容にするために気を付けたいことを考える。	●『ポイント』を確認する。 ・伝える相手を意識しているか ・自分が就きたい仕事について ・今の自分の考えや気持ちについて ・文と文のつながりや順序について
1 2	○前時の作成用ワークシートを用い、構成を意識しながら組み立てる。	
1 2	○グループで、自分が考えた内容を紹介し、お互いに感想やアドバイスを伝え合う。	●グループの様子を見ながら、必要に応じて共有した『ポイント』を意識してアドバイスを伝えるよう声をかける。
1 0	○アドバイスをもとに、まとまりのある内容を意識して推敲する。	
5	○本時の振り返りと次回の活動内容を確認する。	●今回の取組の様子について評価する。 ●次回の活動内容を予告する。

(4) 単元の評価 (書くこと)

	十分満足できると判断される生徒の姿	概ね満足できると判断される生徒の姿	支援を要する生徒への手立て
思 判 表	将来の自分に向けて、10年後の自分を意識し、現在の自分の考えや気持ち が正しく伝わるように、文と文のつながりや順序などに注意して、まとまりのある内容のメッセージを書いている。	将来の自分に向けて、文と文の繋がりや順序などに注意して、まとまりのある内容のメッセージを書いている。	将来の自分に伝えたい内容、文章の作り方などつまずいている点を一緒に考え、適宜支援する。
具 体 の 姿	Dear future me Where do you live? Do you remember the school trip? The tour guide was very kind. He taught me about Izumo Taisha. I want to be a tour guide like him. So, I will learn English and Japanese culture. Are you a tour guide now?	Dear future me I went to the school trip. The tour guide was very kind. He taught me about Izumo Taisha. I want to be a tour guide. I will learn English and Japanese culture.	

(5) 授業の視点

モデル文を参考にしたり、ワークシートや友達からのアドバイスをういたりしたことは、文と文のつながりや順序などを意識してまとまりのある内容のメッセージを書くことに有効であったか。